

## A 研究報告（概要一覧表）

平成 29 年 11 月 29 日  
（平成 29 年 8 月～平成 29 年 10 月受理分）

### 研究報告のまとめ方について

- 1 平成 29 年 8 月～平成 29 年 10 月までに提出された感染症定期報告に含まれる研究報告（論文等）について、重複している分を除いた報告概要一覧表を作成した。
- 2 概要の後に、個別の研究報告の詳細を添付した。

血液対策課資料

| 感染症          | 出典                                                                 | 概要                                                                                                                                                                                          | 番号 | 詳細版<br>ページ |
|--------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------|
| <肝炎ウイルス>     |                                                                    |                                                                                                                                                                                             |    |            |
| E型肝炎         | Euro Surveill.<br>22(2017)                                         | 供血者のE型肝炎ウイルス(HEV)感染に関する疫学情報及び輸血によるHEV感染防止対策について、欧州11カ国における実施状況が示された。アイルランド、英国、オランダ、ドイツ、フランス及びスイスにおいては、全ての供血血液又は一部の供血血液について、HEV RNAスクリーニング検査を実施中、又は実施予定であり、ギリシャ、ポルトガル、イタリア及びスペインでは当局が評価中である。 | 1  | 1          |
| <その他のウイルス>   |                                                                    |                                                                                                                                                                                             |    |            |
| ジカウイルス感染     | Science.<br>356(2017)175-180                                       | in vitroにおいて、デングウイルス(DENV) IgG抗体又はウエストナイルウイルス(WNV) IgG抗体のFcγ受容体を介したジカウイルス(ZIKV)の感染力の増強が確認された。また、ZIKV感染マウスに、DENV感染者又はWNV感染者の回復期血漿を投与した結果、発熱、ウイルス血症の悪化、脊髄及び精巣におけるZIKVウイルス量の増加並びに死亡率の上昇が確認された。 | 2  | 11         |
| ジカウイルス感染     | Transfusion.<br>57(2017)762-769                                    | 米国において、358,786本の供血血液を対象に、ZIKV RNAスクリーニング検査を実施した結果、23本がZIKV陽性であった。陽性となった供血血液を対象にZIKV RNA及び抗体検査による追加検査を実施した結果、14本で陽性が確認された。ZIKV感染のリスク因子としては供血前の感染流行地域への渡航、性交渉を介した曝露等が考えられた。                   | 3  | 19         |
| ジカウイルス感染     | Emerg Infect Dis.<br>23(2017)854-856                               | ブラジルにおいて、妊娠36週にZIKVに感染した女性の母乳からZIKVが検出された。発症後の血液におけるPCR検査でZIKV陽性であったが、出産直前の血液、尿からは検出されず、羊水、臍帯血、胎盤、乳児の尿はZIKV陰性であった。母乳について、Vero細胞においてウイルス培養を行ったところ、細胞変性が観察され、ZIKVの感染性が示唆された。                  | 4  | 29         |
| パルボウイルス感染    | Transfusion.<br>57(2017)1414-1418                                  | 本邦において、赤血球輸血を受けた患者が、パルボウイルスB19(PVB19)感染症と診断され、献血者の1名から低力価のPVB19 DNA ( $1.10 \times 10^4$ IU/mL) が検出された。当該献血者と患者から検出されたPVB19の遺伝子配列は完全に一致することが確認された。                                          | 5  | 33         |
| 黄熱           | PAHO/WHO<br>Epidemiological<br>Alerts and<br>Updates<br>2017/05/24 | ブラジルでは2016年12月以降、黄熱が大流行しており、2017年5月18日までに758例の黄熱確定症例が報告され、264例の確定症例が死亡した。ブラジル保健省は2017年1月から5月にかけて、バイア州、エスピリトサント州、ミナスジェライス州、リオデジャネイロ州及びサンパウロ州の1,028市町村における予防接種戦略を強化するため、2,450万回分の黄熱ワクチンを配布した。 | 6  | 39         |
| 日本脳炎B型       | ProMED-mail<br>20170811.524<br>2440                                | 香港において、世界初の輸血を介した日本脳炎ウイルス感染が確認された。患者は、2017年7月21日時点において、重篤な状態にある。供血者は香港在住の男性であり、献血時間診では問題はなく、日本脳炎の症状は認められなかった。なお、現在の香港における献血指針では、日本脳炎の検査は必要とされていない。                                          | 7  | 47         |
| 日本脳炎B型       | South China<br>Morning Post.21<br>July 2017                        | 香港において、世界初の輸血を介した日本脳炎ウイルス感染が確認された。患者は、2017年7月21日時点において、重篤な状態にある。供血者は香港在住の男性であり、献血時間診では問題はなく、日本脳炎の症状は認められなかった。なお、現在の香港における献血指針では、日本脳炎の検査は必要とされていない。                                          | 8  | 51         |
| 重症熱性血小板減少症候群 | Am J Trop Med<br>Hyg.<br>97(2017)396-402                           | 中国において、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)を発症した1集団(6例)の臨床データ及び検査結果を分析し、インタビューによる疫学調査を実施した結果、SFTSウイルスは血液以外の接触を介して無症候性の感染を引き起こす可能性が示唆された。                                                                      | 9  | 55         |
| 重症熱性血小板減少症候群 | 毎日新聞 2017年<br>7月24日                                                | 西日本の女性がネコに咬まれた後、重症熱性血小板減少症(SFTS)を発症し、約10日後に死亡した。女性にはマダニ咬傷の形跡はなかった。動物を介してSFTSがヒトに感染したとみられる事例は初めてである。                                                                                         | 10 | 66         |

|               |                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                               |    |     |
|---------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|
| ウイルス感染        | Ann Neurol.<br>85(2017)105-114                          | 慢性髄膜脳炎患者の脳脊髄液及び脳生検検体に対し、次世代メタゲノムシーケンシングを実施した結果、カシェバレーウイルスが特定された。患者はオーストラリア人であり、発症数週間前に米国を旅行していた。カシェバレーウイルスはこれまでに北米において同定されており、オーストラリア大陸での検出はない。                                                                                                                               | 11 | 68  |
| ダニ媒介ウイルス脳炎    | The Japanese Times<br>2017/07/12                        | 北海道において、国内3例目(死亡2例目)となるダニ媒介脳炎症例が確認された。患者は70歳代の男性で、2017年6月中旬に発症し、発熱、意識障害等で入院していたが、2017年7月上旬に死亡した。                                                                                                                                                                              | 12 | 80  |
| <その他>         |                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                               |    |     |
| マイコプラズマ感染     | Vector Borne Zoonotic Dis.<br>17(2017)475-477           | ラットに直接接触したことのあったヒトを対象に、Mycoplasma pulmonis (M.pulmonis) 感染について、PCR及びELISAにより評価した結果、ヒトにおけるM.pulmonis陽性が確認された。M.pulmonisはげっ歯類に存在する病原体であるが、これまでヒトから分離されたことはなかった。                                                                                                                 | 13 | 84  |
| コレラ           | ProMED-mail.<br>20170622.5123549                        | 内戦状態にあるイエメンにおいてコレラ感染が拡大していることが報告された。要因として、2年に及ぶ内戦状態で、衛生的な水、食料の確保が困難になっていることが考えられ、2017年5月8日時点で感染者1,360例、死者25例であったのが、2017年6月21日時点では感染者179,548例、死者1,205例に急増している。                                                                                                                 | 14 | 88  |
| 細菌感染          | Transfusion.<br>57(2017)1122-1131                       | 英国National Health Service Blood and Transplant(NHSBT)は、2011年から血小板製剤の細菌スクリーニング検査プロトコルを導入しており、プロトコル導入後の2011年2月から2015年9月における輸血感染症の報告数は導入前の2006年から2010年と比べて90%減少した。                                                                                                               | 15 | 94  |
| アメリカトリパノソーマ症  | Memorias do Instituto Oswaldo Cruz.<br>112(2017)437-446 | Trypanosoma cruzi(T.cruzi)の性感染の可能性に関する報告。ブラジルにおいて、4家族109例を対象として、T.cruzi感染について調査した。109例のうち21例については、急性シャーガス病と診断されていた。PCRにより、血清については76%(83/109)、精液については82.6%(19/23)のT.cruzi陽性が確認された。陽性精液をマウスの腹腔内または臍内に投与したところ、感染が成立した。T.cruziは性行為を介して感染する可能性が示唆された。                              | 16 | 106 |
| リケッチア症        | IASR.<br>38(2017)123-124                                | 本邦で初めてRickettsia australisによるQueensland tick typhusの輸入症例が同定された。オーストラリアに滞在していた女性が、2016年11月に農作業中にダニに吸血された後、発熱、頭痛、関節痛並びに腋窩リンパ節の腫脹及び疼痛を呈した。日本帰国後、医療機関を受診し、国立感染症研究所の検査により、紅斑熱群リケッチア感染であったことが示された。系統解析の結果、Rickettsia australisと同定された。                                               | 17 | 118 |
| クロイツフェルト・ヤコブ病 | J Virol. 91(2017)                                       | 異常グリコフォームプロファイル及びニューロン内プリオンたんぱく質沈着を有する新規の病理学的たんぱく質形態(PrPTSE)を示すコドン129がメチオニン・バリリン(MV)ヘテロ接合体であるクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者から分離された新規のプリオンたんぱく質(PrPTSEMVAG)の立体配座特性を確認した。このプリオンたんぱく質は、孤発性CJD-MV1型及びMV2型プリオンたんぱく質とは全く異なる生化学的特性を有し、ヒトプリオンたんぱく質遺伝子を導入したトランスジェニックマウスでは伝播せず、ハタネズミにおいて伝播が確認された。 | 18 | 122 |
| クロイツフェルト・ヤコブ病 | Transfusion.<br>57(2017)1875-1878                       | 米国赤十字社は、1995年以降、米国において、CJDを発症した供血者からの輸血を受けた受血者について、遡及調査研究を実施してきた。これまでに供血後にCJDを発症した65名の供血者とその受血者826名が登録されているが、CJDの輸血感染症例は認められていない。                                                                                                                                             | 19 | 136 |

## B 個別症例報告概要

- 総括一覧表
- 報告リスト

平成 29 年 11 月 29 日  
(平成 29 年 8 月～平成 29 年 10 月受理分)

### 個別症例報告のまとめ方について

個別症例報告が添付されているもののうち、個別症例報告の重複を除いたものを一覧表の後に添付した（国内症例については、資料 3 において集積報告を行っているため、添付していない）。

## 外国症例報告一覧

1

|        | 番号 | 感染症の種類     |               | 発生国 | 性別 | 年齢 | 発現時期           | 転帰 | 出典   | 区分                                | 備考                                                           |
|--------|----|------------|---------------|-----|----|----|----------------|----|------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------|
|        |    | 器官別大分類     | 基本語           |     |    |    |                |    |      |                                   |                                                              |
| 第 28 回 | 1  | 感染症および寄生虫症 | B 型肝炎         | 米国  | 女  | 不明 | 不明             | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000014<br>報告日:2017 年 8 月 30 日 (MedDRA / J Ver.20.0) |
|        | 2  | 臨床検査       | B 型肝炎ウイルス検査陽性 | チェコ | 女  | 49 | 不明             | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000015<br>報告日:2017 年 8 月 18 日 (MedDRA / J Ver.20.0) |
|        | 2  | 感染症および寄生虫症 | B 型肝炎         | チェコ | 女  | 49 | 不明             | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000015<br>報告日:2017 年 8 月 18 日 (MedDRA / J Ver.20.0) |
|        | 2  | 臨床検査       | A 型肝炎抗体陽性     | チェコ | 女  | 49 | 2017 年 6 月 5 日 | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000015<br>報告日:2017 年 8 月 18 日 (MedDRA / J Ver.20.0) |
|        | 2  | 臨床検査       | B 型肝炎表面抗体陽性   | チェコ | 女  | 49 | 2017 年 6 月 5 日 | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000015<br>報告日:2017 年 8 月 18 日 (MedDRA / J Ver.20.0) |
|        | 2  | 臨床検査       | B 型肝炎コア抗体陽性   | チェコ | 女  | 49 | 2017 年 6 月 5 日 | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000015<br>報告日:2017 年 8 月 18 日 (MedDRA / J Ver.20.0) |
|        | 2  | 感染症および寄生虫症 | A 型肝炎         | チェコ | 女  | 49 | 不明             | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000015<br>報告日:2017 年 8 月 18 日 (MedDRA / J Ver.20.0) |
|        | 3  | 感染症および寄生虫症 | B 型肝炎         | 米国  | 女  | 不明 | 不明             | 不明 | 症例報告 | 外国製品<br>(pH4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)*) | 識別番号 3-17000021<br>報告日:2017 年 9 月 7 日 (MedDRA / J Ver.20.0)  |

\*ハイゼントラ 20%皮下注

| 受理日        | 番号     | 報告者名           | 一般名                                       | 生物由来成分名    | 原材料名 | 原産国                     | 含有区分 |
|------------|--------|----------------|-------------------------------------------|------------|------|-------------------------|------|
| 2017/10/27 | 170632 | C S L ベーリング(株) | 乾燥 pH4 処理人免疫グロブリン pH4 処理酸性人免疫グロブリン (皮下注射) | 人免疫グロブリン G | ヒト血液 | ドイツ、オーストリア、ポーランド、米国、スイス | 有効成分 |